

MJ

Nikkei
Marketing
Journal

日経流通新聞

2月8日(水曜日)

月/水/金 発行

発行所 日本経済新聞社
 東京本社 〒100-8066 東京都千代田区大手町1-3-7
 電話(代表) (03)3270-0251
 大阪本社 〒540-8588 大阪市中央区大手前1-1-1
 電話(代表) (06)6943-7111
 日本経済新聞電子版 <http://www.nikkei.com/>
 NIKKEI MJサイト <http://www.nikkei.co.jp/mj/>
 MJメールマガジン <http://www.nikkei4946.com/e-service/>
 購読の申し込み先 ☎0120-21-4946

design

岡田 七歩美さん

(モザイク作家)

石を割り並べ、住空間を飾る



大理石やガラススタイルなどを細かく割り、下絵にはめ込んで完成させるモザイクの技法で表札や玄関の床、台所の壁といった住空間を飾る。ペット愛好家の写真を基に犬などの姿をモザイク作品に仕上げる。岡田七歩美は依頼に応じて、日常生活に溶け込む作品から観賞用まで幅広くモザイクで制作している。

モザイクは作品の下絵を描き、素材の石を選び、割ることから始まる。思い通りに割れない石を思い通りに並べるのも技術だ。モザイク作品に興味を持つ人はここ10年ほどで急速に広まったという。インターネットの普及に伴い、モザイクに関する情報を入手しやすくなったのも一因のようだ。

岡田は幼い頃から絵を描くことやモノを作ることを好み、都立の芸術高等学校に入学。造形教育の基礎を身につけ、美大を卒業した後は働きながらアーティストを目指した。イタリア美術・文化に触れたいという思いからイタリア語を勉強する中で、モザイクと出会った。1995年イタリア政府給費留学生の資格を得てイタリアへ渡る。モザイクの都市ラベンナでモザイクアートの歴史と技術をゼロから学び、古典モザイク、現代モザイクを習得した。ドイツを含め5年間の海外留学を終え、帰国後はナホミオカダ造形表現研究所を設立し、昨年工房を立ち上げた。岡田は作品を制作する傍ら、習得した技術や表現する喜びを広く一般に伝えたいとモザイク教室を開校している。

■ 技法応用、アレンジ様々

桐(きり)タンスの板にモザイク作品を貼るなど西洋で学んだ技術を日本の風土になじむようにアレンジした作品や、エコモザイクと称してペットボトルのキャップを再利用したカード立てなどを発案している。例えば思い出のある食器が壊れたとき、その素材を使って掛け時計に作り替えるなど、モザイクの技法を応用したアイデアが豊富だ。今後は「仏壇や骨つぼ、墓石などメモリアルアートを手がけ、依頼主の気持ちをモザイクで表現したい」と語る。

—敬称略
(ライター 菊地純子)

おかだ・なほみ 1966年東京都生まれ。89年多摩美術大学美術学部卒業。95年イタリア政府給費留学生としてイタリアへ。ラベンナ市のアルベスタイナーモザイク職人養成コースを経験。同年、同市の美術大学に入学。98、99年ドイツ国立ベルリン美術大学修学。99年帰国、画家として活動開始。2001年ナホミオカダ造形表現研究所設立。11年のがたモザイク工房を設立。

ライター
新しい日本
デザイナー
実施。午前
料は無料。
'80。